

第2回森と水の源流館 授業づくりセミナー

奈良教育大学 中澤静男

1. ESDで育てたい見方・考え方： ESDの視点

実態概念 自然環境や 社会環境	多様性 色々ある 方がいい	相互性 つながりを 尊重	有限性・循環性 資源制約を考慮
規範概念 人は集団の意 思決定・行動	公平性 世代内・ 世代間	連携性 非排他性・ 寛容性	責任性 協調性・リー ダーシップ

※ESDの視点は教材に依存する部分が多い。

※世界遺産には、ESDで育てたい見方・考え方
(ESDの視点)を含むものが多い。

※同じ教材を扱っていても、指導者の注力するポイントが
変わること、教材の取り扱い方も変わっていく。

2. ESDで育てたい資質・能力

①クリティカル・シンキング

(批判的思考力、代替案の思考力)

②システムズ・シンキング

(総合的・構造的に考える力)

③長期的思考力

(データに基づき、将来ビジョンを構想する力)

④コミュニケーション力

(意見と聞く、意見を述べる力)

⑤協働的問題解決力

(※ESDの資質・能力は、学習の進め方に依存する部分
が多い。)

3. ESDで育てたい持続可能な社会づくりに 関する価値観

- 世代間の公正：将来世代の人たちへの配慮
- 世代内の公正：途上国の人たち、貧困層の人
たちへの配慮
- 自然環境の保全を優先する
- 互いの人権・文化を尊重する
- 経済よりも幸福感を重視する。

持続可能な開発目標 (SDGs)



SDGsに関する日本ユネスコ国内委員会 からのメッセージ

「教育が全てのSDGsの基礎」であるとともに、「全てのSDGsが教育に期待」している、とも言われています。ESDもまた、ターゲット4.7に書いてあるから取り組むべき、というだけのものではなく、持続可能な社会の担い手づくりを通じて、**17全ての目標の達成に貢献するものです。**

※教材化する世界遺産は目標の何に関わるのかについて目星を付け、目標に含まれるターゲットをしっかりと読み、注力するポイントを把握する。